

「第6回日仏鉄道共同研究セミナー」を開催しました

平成26年10月27日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）とフランス国鉄（以下、SNCF）は、去る2014年9月29日～10月1日の3日間に渡り、フランス・パリにて「第6回日仏鉄道共同研究セミナー」を開催しましたのでお知らせします。

鉄道総研とSNCFは、1995年に共同研究等に関する協定を結んで以来、各技術分野における共同研究を進めています。今回で6回目となるセミナーは、フランス・パリのベルシー地区にあるSNCFの研究革新局（局長：Eric CONTI（エリック・コンティ）氏）において開催され、鉄道総研からは理事の高井秀之を含め15名が参加しました。

本セミナーでは、9月29日と30日の2日間にわたって、研究開発マネジメントに関する意見交換および共同研究テーマに関する報告等を行いました。

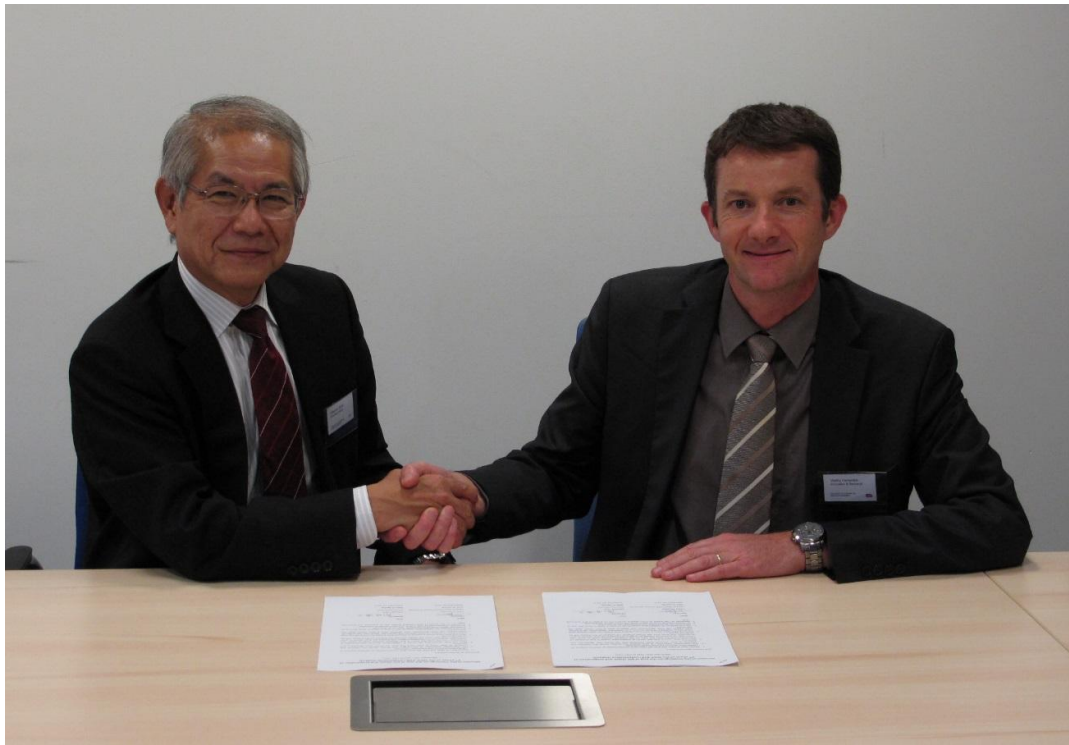
研究開発マネジメントに関する意見交換では、今後、日仏双方において、自然災害対策などの安全性向上、エネルギー利用の効率化、メンテナンスの省力化、ビッグデータの活用法について重点的に検討することを確認しました。共同研究テーマに関しては、4件の第6次共同研究テーマ（架線の検査と予防保全、乗客の乗り心地、電力貯蔵技術、バラスト軌道シミュレーション）の報告、および5件の次期第7次共同研究テーマ（超電導き電、電力貯蔵技術、鉄道橋りょうのダイナミクス、架線の検査と予防保全、バラスト軌道シミュレーション）の紹介を行いました。

セミナー最終日の10月1日は、テクニカルビジットとして、建設中の高速鉄道・東ヨーロッパ線の第2区間（Nancy 近郊～Strasbourg 近郊間）の変電所、信号設備、架線の新設工事を見学しました。

今回のセミナーでは、鉄道総研とSNCFは引き続き密接に連絡を取り合って共同研究を推進すること、および次回の共同研究セミナーは2016年に日本で行うことなどについて合意し、双方の代表者が議事録への署名を行いました。



第6回日仏共同研究セミナー参加者



議事録に署名したのち握手を交わす、鉄道総研理事 高井秀之と
S N C F 研究革新局鉄道技術部長ヴァレリー・ベルサイユ氏



共同研究セミナー報告会の様子